### ⑨ 日本 国特許庁(JP)

① 特許出願公開

# 砂公開特許公報(A)

昭62-92858

@Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和62年(1987)4月28日

B 41 J 3/20 H 05 K 1/11 110

8004-2C D-6679-5F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

49発明の名称

サーマルヘツド

②特 願 昭60-231167

**29**出 **夏** 昭60(1985)10月18日

⑩発 明 者 山 田

武彦

横浜市戸塚区戸塚町216番地 株式会社日立製作所戸塚工

場内

切出 顋 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

②代理人 弁理士 小川 勝男 外1名

#### 射 細 書

- 1 発明の名称 サーマルヘッド
- 2 特許請求の飯囲
  - 1 表面に少なくとも発熱抵抗体列と配線パターンを形成した基板と、信号接続端子を有するFPCとの間のはんだ付け接続部に、信号接続端子はんだ付け部のほかにダミー接続部を設けてなるサーマルヘッド。
  - 2 上記ダミー接続部は3個所以上に設けた特許求の範囲第1項記載のサーマルヘッド。
  - 5 上記ダミー接統部は他の信号接続端子はんだ付け部よりも大きな遊韻に形成した特許請求の範囲第1項または第2項記載のサーマルヘッド。
  - 4. 上記書板は駆動ICを搭載した特許請求の 短囲第1項または第2項または第3項記載の サーマルヘッド。
- 5 発明の群紙な説明
  - [発明の利用分野]

本発明は膨熱記錄用のサーマルヘッドに係り、

特に基板とFPC(フレキシブル・ブリンテド. サーキット)のはんだ竖絨に好適な何逢を有す るサーマルヘッドに関する。

#### 〔発明の背景〕

〔希明の目的〕

本発明の目的は上記した従来技術の問題点を 解決し、基板とFPCのはんだ付け接続部の信 領性を向上できるサーマルヘッドを提供するに ある。

#### 〔発射の概要〕

本発明は上記目的を達成するため、基板とFPCのはんだ付け経統部の一部に好ましくは 5個所以上のダミー接続部を設け、 このダミー接続部に熱応力を受けさせて各信号端子はんだ付け部に加わる熱応力を優和するようにしたサーマルヘッドである。

#### 〔発明の実施例〕

以下に本税明の一実施例を新1 図および第2 図により説明する。

第1 図は本発明によるサーマルヘッドの一実 第例を示す斜視図である。 また第2 図は第1 図 のFP Cの平面図である。 第1 図および第2 図 において、1 は拡張、2 は FP C、3 はヒート シンク、4 は駆動 I C、5 は 発熱抵抗体列、6 は外部接続コネクタ、7 は 基板 1 と FP C 2 の 接続部、8 は本発明による ダミーはんだ付け配 (ダミー接続部)9 は 関連信号端子はんだ付け

#### [発明の効果]

以上に説明したように本発明によれば、サーマルヘッドの基板とFPCの無影误差により発生するはんだ付け接続部の無応力をダミー接続部で受け、各個号端子はんだ付け部に加わる無力を低減することが可能となり、基板とFPCのはんだ付け接続部のはがれをなくして信頼性向上に寄与できる。

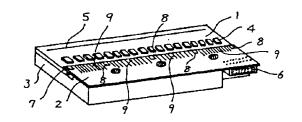
#### 4 図面の簡単な説明

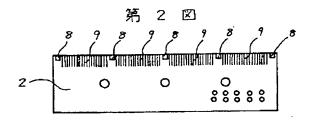
第1 図は本発明によるサーマルヘッドの一 実施例を示す斜視図、第2 図は第1 図の FP C の平面図である。

- 1 … 基板
- 2 ... F P C
- 8 … ダミーはんだ付け部( ダミー接続部)
- 9 … 信号婚子はんだ付け部

このようにして本実施例によれば、サーマルヘッドの基板!とFPC2のはんだ付け接続部の一部に好ましくは3個所以上のダミー接続部8を設け、好ましくはぎミー接続部8の面積を信号端子はんだ付け部9よりも大きくして、これに熱応力をかけさせることにより各信号端子はんだ付け部9の接続信頼性を向上できる。

## 第1四





代理人争理士 小 川 励 男